

令和5年度 第20回「林中地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年11月1日（水） 19：30～20：30

場 所：林中公民館

参加団体等：林中地区協議会、林中まちづくり委員会、林中すみれ会、林中スポーツ協会、林中交通安全協会、松南スポーツ少年団、林中こども会、林中地区社会福祉協議会、林中教和会、JA 松任青年部松南支部林中地区、防犯協会、松南小学校 PTA、民生委員・児童委員、林中こども園理事長、林中かかし地域おこし実行委員会、林中地区自主防災会、公民館長、白山市町会連合会理事など

発言【1】

地区では市からの補助を受けて、スマートフォンを使った情報ネットワークシステムを防災の用途や災害時の安否確認などが主なる目的で導入した。令和4年8月の豪雨の時はシステムが稼働して間もなかったが、中村用水が増水しているという情報をネットワーク網を通じて2～3回発信していて、非常に効果があった。

避難活動をする際に、1人の要支援者に対し数人の支援者が必要となる。その支援者に一斉に非難情報を連絡するには、現在200人の加入者が、更に100人近く増えることになり、現在の予算では対応が困難である。今後のICT化のため、予算を増やしてほしい。

【市】

令和6年度からの（仮称）地域コミュニティ推進交付金は、現在交付している地域コミュニティ活動支援補助金に加え、市内全公民館に交付している公民館活動事業、公民館運営審議委員報酬及びスポーツ課の「うぐいす運動」を合算した相当額に、さらに人口割を加算した額を各地域コミュニティ組織への交付上限額とすることを考えています。交付金の使途は、各組織の裁量で決めることができる自由度の高いものになるので、組織内で協議して有効に活用いただきたいと思います。

発言【2】

- (1) 父親が家で介護が困難になり入所できる施設を探したが、当初、市内も金沢市も定員がいっぱいで入所困難な状況に陥った。最近、家から近いところに入所で

きるようになった。この先、介護老人保健施設や特別養護老人ホームなど入所できる施設を建てる計画があるか。

- (2) 老後白山市に住んでいたら、こんな良いことがあるといった夢のようなプランがないか。

【市】

- (1) 施設整備は、介護給付費の増加につながり、介護保険料の上昇となるなど、影響が大きいことから、待機者数などを考慮しながら計画的に整備しております。市営の施設を整備する予定はありませんが、民間からの公募による整備を考えております。来年度以降の整備につきましては、現在検討をしているところです。
- (2) 市では「あたまとからだの健康推進事業」に取り組んでおり、寿命を延ばすだけでなく健康な状態を長く続けられるような取り組みを行っております。

また、市内在住の65歳以上の方対象に、市内公衆浴場（銭湯）が最大年12回、100円で利用可能な「高齢者ふれあい入浴事業利用券」や、75歳以上の方が対象で市内温泉施設が1回100円（白峰総湯200円）で利用できる「高齢者温泉施設利用券」の交付、「高齢者リフレッシュ支援事業」として、はり・きゅう・マッサージの施術費の一部を助成しています。

その他、市では「高齢者運転免許自主返納支援事業」として、満65歳以上で有効期限内のすべての運転免許証を自主返納された市民の方は、①市コミュニティバスの回数券（20,000円分）②西日本旅客鉄道株式会社が発行するIC乗車券（ICOCA）（19,500円分）③北陸鉄道株式会社が発行するIC乗車券（ICa）（19,500円分）④石川県タクシー協会が発行するタクシー共通乗車券（20,000円分）のいずれかを選択でき、また満70歳以上の市民及び満65歳以上の運転免許証を自主返納した市民の方は、申請により市コミュニティバスが無料になります。

発言【3】

- (1) 中学校の部活の地域移行について、各競技で部活動の地域移行が行われているが、全ての子どもたちが地域移行をしなければいけないのか。試合に出場する際、どうなるのか。
- (2) 各競技団体の休日の指導者など、人員の確保はどうなっていくのか。

【市】

- (1) 中学生の部活動や地域の活動は任意加入であり、中学校部活動だけに参加、地域活動に参加、双方に参加などを選択できます。中学校での体育大会は中学校体育連盟が全体を見ており、今年度からクラブチームの大会参加も認めています。

大会にどちらの団体で出場するかも生徒が選択することになります。

- (2) 各競技の指導者不足は全国的な課題であり、それぞれの自治体で対応を検討しています。本市においては、当面の間、平日の中学校部活動を存続させ、生徒がスポーツ文化の活動への参加を選択できる環境を残しつつ、中学生が参加する地域の社会教育活動としてスポーツ指導者数の拡大を検討することとしています。

発言【4】

市民協働で創るまちづくりについて、効果的な考えがあれば聞きたい。コミュニティセンター化で事務量が増えると予想されるが、最初にはあった、市からの人員のフォローが、最近はなくなったと聞いた。

【市】

地域コミュニティ、市民協働のまちづくりを進めていくことで、地域をどの様にして行けば良いのかという意識を持てるのではないかと思います。特に防災という大きなメインテーマに、地域で地域の安心安全を守っていこうと、今回市民協働のまちづくりを勧めています。今まで公民館がしていないエリアまで担うことで事務量が増えますが、その部分については今後、情報交換しながら地区への補助等を最低でも今より減らないように、ある程度補助できる形にはしなければいけないと思っています。市民協働のまちづくりによって地域づくりが更に活発化し、そこに若い人や子どもたちが参加してもらえればと思います。

また、今後多様化する地域課題や地域住民のニーズに応じた新たな地域づくりが期待されますが、人口減少や少子・高齢化により担い手不足が懸念されているので、事業を闇雲に増やすだけでなく、従来の事業を見直すことにも取り組んでいただきたいと思っています。

発言【5】

- (1) 松任中学校の給食の質が良くないという話を聞いている。育ちざかりで部活動を頑張りたい時期にお腹が空いて部活に集中できなかったという話を聞いた。
- (2) 子どもたちが外に出て遊びたいときに交通量が多く、心配な時がある。また、犯罪が増えているので、監視カメラ、防犯カメラの普及を進めてほしい。
- (3) 雪の時のバスの通学について、この辺は雪がととも降ったときに吹きさらしの地域なので、冬にバス通学を増やしてもらうことは可能か。

【市】

- (1) 給食の内容は、文部科学省から示された学校給食摂取基準を活用し、成長著しい児童生徒の健全な成長及び生涯を通じた健康保持のため、適切な栄養管理で実施しています。松任地域の4つの中学校に自校調理の給食室をつくるのは敷地の問題などがあり難しいですが、メニューは近隣の中学校と同じです。給食の配達には、できるだけ温かいものは温かく持って行けるように努力していますのでご理解をいただきたいと思います。
- (2) 平成28年度から主に通学路等に防犯カメラの設置を進めており、昨年度までに159台設置しました。
また、令和2年度から町内会等に対し防犯カメラ設置補助を行っており、昨年度までに46台のカメラに設置補助をしました。防犯カメラ設置については、一定の犯罪抑止効果のほか、各地区における防犯意識向上にも有効であると考えており、今後も周知を図りながら町会への設置補助を行ってまいります。
- (3) 松南小学校は周りに建物が無い中に建っているので心配だと思います。集団で登校したり地域の見守り隊に見てもらおうなど工夫をしています。スクールバスの利用については、概ね小学校から通学距離が2キロ以上ある指定町内会に住む児童を対象としています。基準により運用しておりますので、ご理解をお願いいたします。

発言【6】

- (1) 孫と公園に行きたいとなっても、市街化調整区域ということもあり近くに公園がなく、車で行かなければいけないので、不便を感じている。
- (2) 町内から公民館までウォーキングすることがあるが、歩道がなく危ないので、用水沿いの田んぼ道を歩くことが多い。七ヶ用水沿線をウォーキングロードやサイクリングロードにできないか。

【市】

- (1) これまでは神社や寺、または児童館でいろいろな遊びを工夫して、遊んでいたと思います。市内の公園は人口に対し充足していることもあり、区画整理事業等以外での整備は今のところ考えておりません。市では町内会の空き地等を利用したコミュニティ広場の新設や増設、改修工事並びに遊具の取替等の補助制度がありますので、町内会でご検討いただければと思います。

(2) 林中地区は田園や農作物を作っている地域であり、そのための農道や用水があります。農道や用水沿いをウォーキングロードなどに整備することについては、農協や生産組合と協議が必要であると思います。農作業者の邪魔になるなど、用水の近くは転落の危険性もあります。そのような事も考えながら住みやすいまちづくりをこれからも提言いただけたらと思います。